

■野村吉三郎 海軍軍人，外交官。<日米開戦>前夜の駐米大使で，怠慢から宣戦布告前の奇襲になるも，責任問われず。
のむらきちさぶろう
西南戦争・ 1877＝ 和歌山県の現在の和歌山市内で，旧紀州藩士の三男に生まれる。

明治14年政変1881＝ 4歳：

帝国大学始・ 1886＝ 9歳：

帝国憲法発布1889＝12歳：

和歌山中学を中退して上京，
日清戦争始・ 1894＝17歳：
日清戦争終・ 1895＝18歳： 海軍兵学校(第26期)に入学，
白馬会・ 1896＝19歳： 野村正胤の養嗣子となり，
子規句歌革新1898＝21歳： 卒業。

田中正造直訴1901＝24歳： イギリスに出張し，
教科書疑獄・ 1902＝25歳： 最新鋭戦艦{三笠}を日本に回航して帰国。

日露戦争始・ 1904＝27歳： <日露戦争>に大尉として出征，旅順軍港攻撃の際，危うく救助されるなどしながら，
日露戦争終・ 1905＝28歳： 軍艦の航海長を歴任，

アヲヲ 創刊・ 1908＝31歳： オーストリアに赴任，

韓国併合・ 1910＝33歳： 続いてドイツに赴任，
大逆事件判決1911＝34歳： 帰国，
明治天皇没・ 1912＝35歳：
大正政変・ 1913＝36歳：
第一次大戦始1914＝37歳： アメリカ大使館付武官となり，

フランクリン・ローズベルトらと親交を結んで，

本格政党内閣1918＝41歳： 帰国。
ベルサイユ条約・ 1919＝42歳： <ベルサイユ講和会議>全権随員，

原敬首相暗殺1921＝44歳： <ワシントン会議>全権随員を務める。
水平社結成・ 1922＝45歳： 将官に進み，

海軍軍令部次長，呉・横須賀両鎮守府司令長官などを歴任後，

満州事変・ 1931＝54歳：
五一五事件・ 1932＝55歳： 第3艦隊司令長官として上海事変にあたり，爆弾で片目を失う。
国際連盟脱退1933＝56歳： 大将に昇進し，軍事参議官となったが，

日中戦争始・ 1937＝60歳： 予備役に編入され，学習院院長となる。

第二次大戦始1939＝62歳： *阿部信行内閣の外相をへて，
大政翼賛会・ 1940＝63歳： *駐米大使となり，日米交渉に尽力したが，
日米開戦・ 1941＝64歳： *<日米開戦>に際して，怠慢によって最後通告伝達が遅れ，"真珠湾攻撃"が卑怯とされる原因をつくって，
1942＝65歳： *帰国するも，責任は問われず，
年金+総武装 1944＝66歳： 枢密顧問官に就任。
敗戦・ 1945＝67歳：
新憲法公布・ 1946＝68歳： 著書に「米国に使して」がある。

朝鮮戦争始・ 1950＝72歳：
独立回復・ 1951＝73歳：

自衛隊発足・ 1954＝76歳： 参議院議員に当選(自由民主党)した。

美智子妃・ 1959＝81歳：
安保闘争・ 1960＝82歳： 再び参議院議員に当選したが，
東京オリンピック 1964＝86歳： 没した。

「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，